

科目名	コンピュータ・リテラシー						年度	2026	
英語科目名	Basic Computer Practice						学期	前期	
学科・学年	建築学科 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	小池 和仁	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】 ・基本的なPC操作を理解し、ブラインドタッチ、フォルダやファイルの作成、保存、課題を提出することができる ・office（本授業ではWord、Excel、Powerpointのみ）を使い、ビジネス文章や計算、グラフ作成、プレゼンテーション等を作成することができる ・上記を建築計画に応用し、Vectorworksと併用した設計内容の概要、作図、面積、計画のアウトプットをすることができる									
【科目の概要】 PCの基本的な操作を理解し、建築業務全般に必要なソフトやアプリケーションを習得することで、広範囲から建築業界にアプローチすることができるスキルを身につける									
【到達目標】 A. ストレスなくPCを操作することができる B. Officeを使いこなすことができる C. Vectorworksを使用した作図を行い、Officeと関連付けて使用することができる									
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、印刷提出物として評価を行う 提出物はテスト形式と同様、自分自身でチェックし、指導教員等に確認を受ける									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	ストレスなくPCを操作することができる		ゆっくりではあるが、操作を理解し使うことができる				キーボードの配列やタイピングがスムーズに行えない、システム環境の理解に乏しい		
到達目標 B	Officeを使いこなすことができる		ゆっくりではあるが、操作を理解し使うことができる				ソフトの操作の理解に乏しい		
到達目標 C	Vectorworksを使用した作図を行い、officeと関連付けて使用することができる		ゆっくりではあるが、操作を理解し使うことができる				作図操作の理解に乏しい		
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 『情報リテラシー（改訂版）office2016』FOM出版									
【参考資料】 『Vectorworks 2014 ベーシックマスター』エクснаレッジ									
【成績の評価方法・評価基準】 毎回の授業への取り組姿勢、出席状況、成果品等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンピュータ・リテラシー			年度	2026
英語表記		Basic Computer Practice			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	PCガイダンス 自己分析シート の作成・提出	PC操作を知り、Wordを 使うことができる	1 PCの基本的な操作	基本的な操作・新規作成・保存等を理解している	2	
			2 Wordの基本操作	Wordの基本操作を理解している		
2	第一課題 作成・提出	Wordを使いビジネス文 章を作成できる	1 Wordの応用操作	Wordを使いビジネス文章を作成できる	2	
3	CADガイダンス 作図	Vectorworksを使い簡 単な作図ができる	1 Vectorworksの基本操 作・新規作成・保存方 法	Vectorworksの基本操作や座標を理解している	2	
4	第二課題 日本の文様	日本の伝統的な文様を 作図できる	1 文様の作図 1	Vectorworksの基本操作で文様を作図できる	2	
5			1 文様の作図 2	Vectorworksの基本操作で文様を作図できる	2	
6			1 文様の作図 3	Vectorworksの基本操作で文様を作図できる	2	
7	第三課題 建築家の椅子	歴史ある建築家の椅子 を作図できる	1 椅子の三面図 1	Vectorworksで椅子の三面図を作図できる	2	
8			1 椅子の三面図 2	Vectorworksで椅子の三面図を作図できる	2	
9			1 椅子の三面図 3	Vectorworksで椅子の三面図を作図できる	2	
10	第四課題 オリジナルの椅 子	オリジナルの椅子を作 図できる	1 椅子のデザイン 1	限らたパーツで椅子をデザインできる	2	
11			2 デジタルエスキス	Vectorworksで椅子をデザインできる		
			12	1 椅子のデザイン 2	限らたパーツで椅子をデザインできる	2
2 デジタルエスキス				Vectorworksで椅子をデザインできる		
13	第五課題 敷地図と面積	VectorworksとExcelを 使い敷地図と面積表を 作成できる	1 敷地図の理解	敷地図の描き方やスケール感を理解できる	2	
			2 敷地図の作図	Vectorworksで敷地を作図できる		
14			1 Excelの基本操作	Excelの基本操作を理解している	2	
			2 敷地の面積	Excelを利用し面積表を作成できる		
15	敷地図と面積	VectorworksとExcelを 使い敷地図と面積表を 作成できる	1 Excelの応用操作	Excelを利用し建ぺい率と建築面積を理解できる	2	
			2 Excelの応用操作	Excelを利用し容積率と建築面積を理解できる		
			3 敷地の面積	Excelを利用し面積表を作成できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等